

平成30年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月5日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東
 コード番号 8886 URL http://www.woodfriends.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 嘉浩 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績（平成29年6月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	6,752	17.4	245	154.8	198	368.9	127	-
29年5月期第1四半期	5,750	△6.7	96	△43.6	42	△66.0	△4	-

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 142百万円 (-%) 29年5月期第1四半期 10百万円 (△89.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	87.98	-
29年5月期第1四半期	△3.29	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第1四半期	20,665	5,358	24.5	3,469.48
29年5月期	19,412	5,328	26.0	3,476.14

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 5,059百万円 29年5月期 5,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	-	0.00	-	90.00	90.00
30年5月期	-	-	-	-	-
30年5月期(予想)	-	0.00	-	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,300	7.7	590	5.4	450	3.7	290	5.8	199.86
通期	33,200	12.1	1,220	16.4	920	13.7	600	13.2	413.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期1Q	1,480,000株	29年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	21,778株	29年5月期	28,978株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期1Q	1,458,222株	29年5月期1Q	1,467,122株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予測に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いており、とりわけ名古屋市内各地で開発の動きが広がっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年同時期と比べて増加基調が続いております。特に分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、需要増への期待から着工数が堅調に推移しました。短期的には、このような傾向が続くと予想しております。

② 当社の取り組み

- ・当グループの主力事業である分譲住宅事業において、事業工期短縮とコストダウンを前期からの継続的な重要課題として、生産・販売プロセスの改善に取り組んでまいりました。
- ・将来の事業発展のため、集成材製造・プレカット加工等を行う岐阜工場の生産能力を拡張するための設備投資としてプレカット工場棟を新設し、稼働いたしました。

③ 当第1四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期実績	6,752百万円	245百万円	198百万円	127百万円
前年同期比	17.4%増	154.8%増	368.8%増	—

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売が主力。住宅建設資材の製造・販売も行う。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	6,204百万円	306百万円	戸建分譲住宅の生産効率と販売効率が向上したことにより、販売戸数が増加し利益率も改善。また、建設資材の外販量も増加。
前年同期比	21.1%増	387.0%増	

b AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	469百万円	124百万円	業績は概ね計画どおり進捗。
前年同期比	1.6%増	4.6%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当期実績	66百万円	△36百万円	在庫物件のたな卸資産評価損を計上したことと完成工事補償引当金を積み増したことにより減益。
前年同期比	6.3%増	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	39百万円	2百万円	宅地開発を行わなかったために減収減益となったが、業績は概ね計画どおり進捗。
前年同期比	69.8%減	84.9%減	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加及び設備投資による有形固定資産の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して1,253百万円増加し、20,665百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得と設備投資に伴う借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して1,222百万円増加し、15,307百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が減少したものの、非支配株主持分が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して30百万円増加し、5,358百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月12日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,208,148	3,732,149
完成工事未収入金	5,556	2,802
売掛金	344,241	337,564
販売用不動産	4,688,898	4,301,445
仕掛販売用不動産	5,323,007	6,063,311
商品及び製品	203,810	230,260
未成工事支出金	1,287,082	2,074,965
原材料	248,170	202,149
仕掛品	97,846	100,733
その他	507,586	639,595
流動資産合計	16,914,349	17,684,977
固定資産		
有形固定資産	2,061,929	2,535,602
無形固定資産	134,194	134,742
投資その他の資産	302,101	310,377
固定資産合計	2,498,225	2,980,722
資産合計	19,412,575	20,665,699
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,471,647	1,376,187
買掛金	365,521	401,236
1年内償還予定の社債	153,400	107,400
短期借入金	5,881,562	6,592,453
1年内返済予定の長期借入金	1,469,540	1,467,765
未払法人税等	148,146	71,726
賞与引当金	151,357	46,997
役員賞与引当金	32,000	—
完成工事補償引当金	142,922	139,961
その他	707,084	685,435
流動負債合計	10,523,182	10,889,164
固定負債		
社債	309,600	279,600
長期借入金	2,289,116	3,290,721
退職給付に係る負債	1,194	1,294
役員退職慰労引当金	138,100	139,972
資産除去債務	16,102	16,145
その他	807,008	690,120
固定負債合計	3,561,122	4,417,854
負債合計	14,084,304	15,307,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	280,619	284,956
利益剰余金	4,538,442	4,535,514
自己株式	△55,569	△41,762
株主資本合計	5,042,617	5,057,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,337	1,432
その他の包括利益累計額合計	1,337	1,432
非支配株主持分	284,315	299,414
純資産合計	5,328,270	5,358,680
負債純資産合計	19,412,575	20,665,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	5,750,738	6,752,595
売上原価	4,979,594	5,743,488
売上総利益	771,144	1,009,106
販売費及び一般管理費	674,889	763,810
営業利益	96,254	245,295
営業外収益		
受取利息	9	4
受取手数料	3,739	4,220
その他	10,009	8,284
営業外収益合計	13,757	12,509
営業外費用		
支払利息	58,383	51,431
その他	9,360	8,195
営業外費用合計	67,744	59,627
経常利益	42,268	198,178
特別損失		
固定資産除却損	1,008	175
特別損失合計	1,008	175
税金等調整前四半期純利益	41,259	198,002
法人税等	29,635	55,239
四半期純利益	11,623	142,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,455	15,098
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,831	127,664

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	11,623	142,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,595	95
その他の包括利益合計	△1,595	95
四半期包括利益	10,028	142,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,426	127,759
非支配株主に係る四半期包括利益	16,455	15,098

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	5,120,806	461,830	56,983	111,119	5,750,738	—	5,750,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,713	492	5,150	19,406	26,762	△26,762	—
計	5,122,519	462,322	62,133	130,525	5,777,501	△26,762	5,750,738
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	63,016	130,049	△7,281	15,162	200,947	△104,692	96,254

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△104,692千円には、セグメント間取引消去25,403千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,096千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	6,201,598	469,030	61,846	20,119	6,752,595	—	6,752,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,750	519	4,228	19,335	26,833	△26,833	—
計	6,204,348	469,549	66,075	39,454	6,779,428	△26,833	6,752,595
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	306,867	124,072	△36,298	2,285	396,926	△151,630	245,295

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△151,630千円には、セグメント間取引消去4,829千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△156,460千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。